

■阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】:ITV画像を用いた交通事象を検出する技術
【背景・課題】:現在、落下物や逆走、事故といった事象は検出用の専用カメラ等を設置している一部区間でしか検出ができない状況。一方でITVカメラは約1km間隔で配置、管制の運用において旋回・ズーム等を実施することより本線の視認率が約90%となっており、この映像を活用した事象検知ができれば広い区間で交通事象検出が可能となるため、カメラ映像による交通事象検出技術を求めるもの。
【ゴール・目標】:カメラ映像を用いた広範囲、高精度な交通事象検出
【実現イメージ】: 都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現
【取組み】: IoT、3次元モデル、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化
【対象設備—対象構造物】: 電気通信 - 電気通信 点検 - 点検
【業務分野】: 維持管理

(2025年7月時点)